



協定締結・海外だより・国際交流

Australia

豪州メルボルン大学と部局間協定を締結

国際連携室 室長 山内 太郎 / Taro YAMAUCHI

2023年9月4日から7日にかけて、矢野理香研究院長、山内太郎国際連携室長、澤村大輔教授、宍戸 穂助教、国際連携機構の植村妙菜 URA が北海道大学の戦略的国際連携校である豪州メルボルン大学(UoM)医学・歯学・保健科学研究院を訪問して部局間協定を締結しました。

両研究院の連携は、両校で2022年に立ち上げたマッチングファンドによって、高齢者医療、住環境における研究者交流が始まったことが発端でした。両校連携のキックオフイベントである2022年に開催した「ヘルシーエイジングに係るバーチャルコンファレンス」においても、双方に共通する関心について認識していました。

今回の訪問では、UoMの医学・歯学・保健科学研究院で国際連携を担当するマイク・マガキン副研究院長、研究担当のアリシア・スピトル准研究院長、ノサル・グローバ

ルヘルス研究所のキャシー・ヴォーン所長、ブルース・トン

プソン保健科学院長、マリー・ゲルト看護学科長、フィオナ・ドブソン理学療法学科長、アンドリュー・メータ検眼・視覚科学科長らと面談し、連携可能性を探りました。

また、ヘルスケアシステムのデジタル化によって臨床現場で生じ得るトラブルの検証を行う「健康デジタルトランスフォーメーションセンター」、研究者派遣を行っている地域医療機関「オースティン・ヘルス」、そして「メルボルンブレインセンター」、「看護学科および検眼・視覚科学科のラボを訪問して研究教育の現場を見学する機会に恵まれました。

訪問期間中に、澤村教授の検眼・視覚科学科およびフローリー脳科学・メンタルヘルス研究所での講演があり、聴衆から多くのフィードバックが寄せられました。その他、国際保健と地域連携、医療・看護人材の確保と業務管理・労働環境改善、認知症やアルツハイマー病を含めた脳科学、高齢者のイドヘルスケアなど、保健科学研究院/学院と連携可能な分野が多いことがわかりました。短期間でしたが、今後の発展が期待される有意義な訪問となりました。



メルボルン大学トンブソン保健科学院長と部局間交流協定締結署名



メルボルン大学の研究者と保健科学研究院の訪問団

Thailand

チェンマイ大学から看護学教員が来訪

基盤看護学分野 准教授 宮島 直子 / Naoko MIYAJIMA

2023年7月27日にチェンマイ大学(タイ王国)から14名の看護学教員らが来訪し、終始和やかな雰囲気の中、交流を深めました。研究院長の矢野理香教授の挨拶の後、宮島直子准教授から大学紹介、鷲見尚己教授から「Transitional Care in Japan」というテーマで講演がありました。講演の後には、北海道大学病院を見学し、半日のプログラムでしたが、お互いに実りの多い時間を過ごしました。



(上) チェンマイ大学から来訪してくださった皆さん
(下) 全プログラムを終了して、チェンマイ大学の皆さんと係の宮島直子准教授、大日方裕紀助教、雲杉学術研究員との記念写真